

公益社団法人山口被害者支援センター  
2019年度 事業報告  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

第1 2019年度本来事業

1 安定的活動資金の獲得

(1) 賛助会員等の募集

県民及び企業、各種機関・団体等を対象とし、支援活動の紹介、街頭活動や関係機関のイベント等へ積極的に参加する等、広報啓発活動を活性化させ、正会員、賛助会員の募集及び寄付、募金活動を強化して活動資金の確保に努めた。

- ・賛助会員（個人）総数 51名（前年対比 25名増）
- ・賛助会員（団体）総数 115団体（前年対比 49団体増）
- 参照：正会員数 50名（前年対比 6名増）

(2) 委託事業の獲得

県や県警察からの委託事業について、民間ならではのきめ細かい支援活動を行うとともに、県内外の被害者や各種関係機関・団体との連携による広報活動や研修事業を行い、誠実かつ確実に履行することで、今後、継続的な委託事業を確保する働きかけを強化した。

山口県：犯罪被害者等支援委託事業、犯罪被害者等相談窓口研修会  
防府市：いのちの授業  
周南市：人権講座

(3) 被害者支援自販機の設置促進（第2 収益事業で実績報告）

県警察と連携のうえ、被害者支援自動販売機の新設・更新に取り組みとともに、一般企業等に継続的な協力を求めた。

(4) ホンデリング事業への参加

ホンデリング事業については、既に参加登録を完了しており、広報活動とともに、ホンデリング事業の支援の輪を広げた。

- ・16団体、個人協力者（養成講座参加者、持参者）
- 12月末実績 2,682冊 43,908円

(5) おいでませ募金（ワンクリック募金）の実施

当センターのホームページへのバナー掲載による、リンク回数単位での企業募金の募集。

- ・支援企業 6団体

2 事務局機能の充実

(1) 人的充実

事務局体制は、常勤職員5名、非常勤職員1名であるが、犯罪被害者等早期援助団体に再指定されたことや、平成28年1月に一般社団法人から公益社団法人に移行したことから、被害者のニーズに沿った迅速で適切な支援活動ができるよう支援員等の人材育成に努めた。

- ・相談員総数 11名
- ・直接支援員総員 17名

○支援員養成講座の実施

令和元年5月から8月にかけて、全10回に及ぶ初級講座を設けて、相談員として必要な研修を検察庁、裁判所、県警、法テラス、弁護士、臨床心理士等、各方面の講師を招聘し、支援員の養成に努めた。

（特別受講者：検察庁、男女共同参画課、市町行政窓口、県臨床心理士会）

令和元年度「被害者支援員養成講座」について

1.	期 間	5月19日（日）～8月7日（水）
2.	場 所	公開講座 山口グランドホテル 2回～9回 山口被害者支援センター2階会議室 10回（修了式）山口グランドホテル
3.	申 込 者	10名（昨年18名） 事務局相談員1名含む
4.	オブザーバー参加者	14名（昨年39名） （県・市町男女共同参画職員・相談員・国際交流協会他）
5.	修 了 者	8名（昨年10名） 事務局相談員1名含む （10回の講座のうち8割出席者）

6.	支 援 員 希 望 者	6名（昨年7名） 広報のみ希望1名
7.	イ ン タ ー ン 修 了 者	2名（令和2年3月末現在）

令和元年度 被害者支援員養成講座 コース別実施状況

		日程	人数	講 義	講 師
1	入 門	5/19 (日)	150	公開講座 「少年事件の被害者になって、考えたこと」 -西鉄高速バスジャック事件から-	西鉄高速バスジャック事件被害者 山口 由美子氏
2	入 門	5/29 (水)	7	山口被害者支援センターの概要・DVD視 聴・オリエンテーション	山口被害者支援センター 事務局長 田上 秀雄
		5/29 (水)	7	犯罪被害者支援の実際	山口被害者支援センター 副理事長 島田 令子
3	入 門	6/5 (水)	12	被害者支援の実際 電話相談・ 面接相談・直接的支援	山口被害者支援センター 副理事長 島田 令子
		6/5 (水)	7	初級進級への意思確認（面接）	山口被害者支援センター理事長 他
4	初 級	6/12 (水)	13	警察捜査と被害者支援について	山口県警察本部 犯罪被害者支援室
		6/12 (水)	11	被害者に提供するサービス	山口被害者支援センター
5	初 級	6/20 (木)	16	DV・ストーカー被害について	山口県警察本部 人身安全対策課
		6/20 (木)	14	セルフヘルプ・グループの意義と支援	九州大学留学生センター 准教授 高松 里氏
6	初 級	7/3 (水)	11	カウンセリングスキルの基礎 犯罪被害者に対する電話対応の仕方	大分県立看護科学大学 准教授 関根 剛氏
		7/3 (水)	12	支援者のストレスとサポート 支援者の倫理	
7	初 級	7/11 (木)	13	裁判の流れ・裁判所の役割 ・被害者の保護について	山口地方裁判所
		7/11 (木)	13	検察の役割と犯罪被害者支援	山口地方検察庁 検察官
8	初 級	7/17 (水)	11	刑事裁判の流れと被害者の関わり等	山口被害者支援センター 理事長 弁護士 鶴 義勝
		7/17 (水)	12	被害者への理解、被害者支援における 心理教育	おがわ心理事務所小川 昭氏

9	初級	7/31 (水)	13	被害者への理解を深める	交通事故被害者遺族 木村 緑氏
		7/31 (水)	11	DV被害の理解と支援について	NPO法人山口女性ネットワーク 代表理事 小柴 久子氏
10	初級	8/7 (水)	9	支援員のメンタルケア	JAメンタルヘルス対策室長 坂井 譲氏
		8/7 (水)	8	小論文・修了式・面接	山口被害者支援センター理事長 他

## 第2 公益目的事業活動

### 1 被害者支援事業（電話相談・メール相談・面接相談・直接支援）

(1) 相談電話106件、メール相談7件、面談件数15件、  
直接支援18件。

内、県警察からの特定情報の提供4件、教示1件を含め、  
合計146件について、迅速・適切な対応に努めた。

(2) 専門家相談及び、他機関との連携

弁護士による相談対応 1件、他機関への紹介・引継ぎ  
31件

### 2 被害者直接支援事業

(1) 被害者等に対する直接支援は、被害者の被害状況、要望  
等を把握し、担当者指定のうえ警察関連支援1件、裁判所  
支援9件、弁護士法律相談支援2件、行政窓口支援2件、病院  
付添1件、自宅訪問支援1件、生活支援1件、その他1件、  
合計18件の直接支援を実施した。

(2) 関係機関・団体との連携強化

ア 犯罪被害者等早期援助団体として、県警察からの被害者  
情報4件の提供や、教示1件により、早期に被害者等の  
ニーズに応える支援活動を実施した。

イ 法テラス、弁護士会との協議会や研修会等へ出席し、連携  
強化を図った。

ウ 全国被害者支援ネットワークと連携した活動を展開  
総会、ブロック会議、各種委員会、研修へ積極的に出席す  
るなど連携強化を図った。

- エ 山口県被害者支援連絡協議会と連携し、支援活動の積極的な推進に努めた。
- オ その他、各種関係機関・団体、相談機関等と連携した事業推進を図った。

- 3 犯罪被害者相談員、直接支援員に対する研修事業（部外研修参加）  
関係機関からの案内に基づき、各関係機関が主催する研修会へ随時、相談員・局員等を派遣した。

外部会議・研修会別参加状況

月 日	研 修 内 容	場 所
4/18	県警被害者支援対策協議会広報委員会	山口警察署
4/19	全国事務局長会議	全国ネット
5/8	交通被害者分科会	県警本部
5/17	性被害・DVストーリー被害分科会	県警本部
5/23	被害支援連絡協議会相談窓口研修会	山口警察署
6/7	安全で安心なまちづくり推進協議会	山口県庁
6/13	被害者支援連絡協議会総会	山口県庁
7/3	配偶者暴力相談支援協議会	山口県庁
7/19	犯罪被害者等支援条例検討会	県警県民課
7/23	被害支援連絡協議会	センター2F
8/8	全国理事長会議	全国ネット
8/21	警察友の会総会	山口市
9/6	中・四国ブロック事務局長会議	広島市
9/7～8	中・四国ブロック質の向上上期研修	広島市
9/13	日本財団預保納付金説明会	福岡市
10/8	山口外国人相談支援ネットワーク会議	山口県庁
10/18	全国フォーラム	東京都
10/19～20	全国秋期研修会	東京都
10/26	男女共同参画フォーラム	山口市
11/20	下関地区被害者支援連絡協議会幹事会	下関警察署
11/29	宇部地区被害者支援連絡協議会幹事会	宇部警察
11/29	やまぐち性暴力相談ダイヤル「あさがお」被害者支援研修会	山口市
12/20	外国人等相談窓口対応研修会	山口市
1/11	犯罪被害者等支援条例シンポジウム	山口弁護士会

1/17	中 四 国 ブ ロ ッ ク 局 長 会 議	岡 山 市
1/18～19	中 四 国 ブ ロ ッ ク 質 の 向 上 下 期 研 修	岡 山 市
1/24	岩 国 地 区 被 害 者 支 援 連 絡 協 議 会	岩 国 警 察 署
2/4～5	県 警 退 職 者 説 明 会	県 警 本 部

#### 4 被害者支援の調査、研究

関係機関と連携しながら次の事業に取り組んだ。

- (1) 全国被害者支援ネットワーク、その他関係機関が行う被害者調査及び支援内容実態調査への協力
- (2) 各関係対象者等へのアンケート調査
- (3) 各大学における関係学部、研究部門等との連携による被害者支援に関する調査研究
- (4) 山口県被害者支援連絡協議会と連携した支援技術等調査研究その他、被害者支援に関わる機関等への参画、研修等

#### 5 広報・啓発活動の実施

県内の大型スーパー、企業等において、被害者等支援活動への理解と協力を呼びかけ、リーフレット、チラシ等を配布するなど、被害者支援に関する理解と協力を得るための積極的な広報活動を実施した。

犯罪被害者等が置かれている状況、犯罪被害者等の名誉及び生活の平穏に配慮する重要性等についての県民の理解を深めるとともに、被害者支援の担い手の確保のため、積極的かつ効果的な広報啓発活動を実施した。

##### (1) 広報・啓発（街頭）活動

月 日	活動場所等	活動内容
4/14	イオン防府店	黄色いレシート・広報活動
4/20	美東サービスエリア	高速道路利用者広報啓発活動
5 / 9	J R 新山口駅構内	「公開講座」告知広報
5/10	J R 上郷駅構内	「公開講座」告知広報
5/13	FM山口、山口ケーブル	「公開講座」開催告知取材報道
5/19	山口グランドホテル	「公開講座」講師：山口由美子
8/24	山口市民会館	人権ふれあいフェスタバル
10/15	山陽小野田市内	「犯罪被害者週間行事」開催告知広報
10/17	FMサンサンきらら	「犯罪被害者週間行事」開催告知取材報道

11/4	不二輸送機ホール	犯罪被害者週間行事 in 山陽小野田
1/10	下松市	110番の日・広報啓発活動
2/4・5	県警本部	県警察退職者への支援依頼

(2) 「命の大切さを学ぶ教室・いのちの授業」等の実施

山口県・防府市の委託事業として小学校・中学校・高校を対象に15回実施（参加者合計 7,074名）

場 所：県内の小・中学・高校等

対象者：生徒、教職員、保護者等

内 容：授業等において、犯罪被害者等の気持ちを理解するとともに、被害者への配慮と協力への配慮と協力への意識を涵養するとともに、犯罪に対する規範意識の向上を図る。

① 山口県委託事業（命の大切さを学ぶ教室）

	実施日	学校名	講師名	講演種別	人数
1	4/11	下関市立長府中学校	小森美登里	いじめ	470
2	4/11	下関市立長成中学校	中谷加代子	殺人事件	250
3	4/12	下関市立豊田中学校	小森美登里	いじめ	190
4	4/12	下関市立勝山中学校	小森美登里	いじめ	660
5	4/12	下関市立彦島中学校	高尾秀治	いじめ	480
6	6/15	防府市立華陽中学校	木村緑	交通事故	600
7	7/10	野田学園中学校	浜崎満治	交通事故	210
8	7/10	野田学園高等学校	浜崎満治	交通事故	940
9	7/16	山口県立小野田工業高等学校	松田洋子	いじめ	375
10	9/27	山口県立岩国高等学校	木村緑	交通事故	700
11	10/16	山口県立防府高等学校	松田洋子	いじめ・デートDV	570
12	10/24	山口県立柳井高等学校	松田洋子	いじめ	150
13	11/9	山陽小野田市竜王中学校	中谷加代子	殺人事件	300
14	11/14	山口県立厚狭高等学校	松田洋子	いじめ	400
合計					6,365

② 防府市委託事業（いのちの授業）

	実施日	学校名	講師名	講演種別	人数
1	10/24	防府市立中関小学校	小森美登里	いじめ	270
2	10/25	防府市立右田小学校	小森美登里	いじめ	439
合計					709

受講した中学生、高校生から講師への感想文、全国作文コンクールへの応募を行った。

○「命の大切さを学ぶ授業」全国作文コンクール受賞

警察庁長官官房給与厚生課・犯罪被害者支援室長賞

高校生の部 県立萩高等学校 上野 鈴歩 さん

中学生の部 下関市立勝山中学校 平櫛 大地 さん

③ 周南市委託事業（人権講座）

	実施日	団体名	講師名	講演種別	人数
1	8/8	周南市教育委員会	小森美登里	いじめ	40
合計					40

(3) 「命の講座」・「相談窓口担当者研修会」の実施

① 山口県の委託事業として、大学生、一般社会人等を対象に「命の講座」を14回実施（参加者合計766名）。

対象者：大学生、一般社会人・職場等を対象

内容：県内の、大学、専門学校、職場等へ赴き、犯罪被害者支援の啓発講演・講義により、犯罪被害者等支援啓発や新たな支援の担い手の確保を図る。

山口县委託事業（命の講座）

	実施日	団体名	講師名	講演種別	人数
1	4 / 9	美祢ロータリークラブ	西山幸雄	被害者支援	22
2	9 / 3	山口県農業協同組合宇部統括本部	西山幸雄	被害者支援	45
3	9/17	宇部西ロータリークラブ	西山幸雄	被害者支援	50
4	9/18	JA山口厚生連周東総合病院	西山幸雄	被害者支援	10



5	9/26	宇部商工会議所	西山幸雄	被害者支援	40
6	10/4	山口南ロータリークラブ	西山幸雄	被害者支援	40
7	10/16	J A 山口厚生連周東総合病院	西山幸雄	被害者支援	30
8	12/5	セントラル硝子(株)	松本里奈	交通事故	178
9	12/18	セントラル硝子(株)	松本里奈	交通事故	136
10	1/27	サンデン交通	木村緑	交通事故	30
11	2/7	防府市教育委員会	松本里奈	交通事故	50
12	2/8	七夕会	田中裕康	被害者支援	80
13	2/17	柳井地区生徒指導連絡協議会	松田洋子	いじめ	30
14	2/25	山口県央ロータリークラブ	西山幸雄	被害者支援	25
合計					766

- ② 山口県の委託事業として、市町の犯罪被害者相談窓口担当者等を対象に8月27日に相談窓口担当者研修会を実施。(人数32名)  
 目的：市町の犯罪被害者に対する総合的対応窓口対応の向上  
 講義：「犯罪被害者等の現状と支援制度」「支援センターの概要」  
 講演：武庫川女子大学：大岡由佳「ワンストップ支援を考える」

(4) 自助グループの設立と活動

・自助グループ〔風の森〕 設立会合

日時 令和元年5月19日(土) 10時～12時30分  
 場所 山口市小郡JR新山口駅前 山口グランドホテル  
 出席者 遺族関係者 6家族 9名  
 事務局 理事長、センター職員 7名 警察県民課 1名

・第2回会合

日時 令和元年8月10日(土) 13時～15時30分  
 場所 山口市小郡新町 山口被害者支援センター会議室  
 出席者 遺族関係者 4家族 4名  
 事務局 センター職員 3名

・第3回会合

日時 令和元年11月4日(土) 10時30分～12時00分  
 場所 山陽小野田市 不二輸送機ホール  
 出席者 遺族関係者 3家族 3名  
 事務局 センター職員 3名

・第4回会合

日 時 令和元年3月7日（土）10時～12時30分

場 所 山口市小郡新町 山口被害者支援センター会議室

※ 新型コロナウイルス感染拡大により会合中止

これまで当センターには「自助グループ」の活動規程の記載はあるが実際のグループ設立がなく、活動がなされていない実体であり、新たに自助グループ「風の森」を設立して、犯罪被害者遺族の方々の心の支えとして年間3回の会合を開催した。

(5) ホームページ等広報媒体の充実

ハートライン通信等の紙面による広報を行うとともに、ホームページを随時更新し、活動状況の紹介や犯罪被害者等への支援に関する情報の周知、徹底を図った。

(6) 広報物品の配布

広報活動等の現場において、新規作成したリーフレット、チラシ、ティッシュ等の配布などにより、視覚に訴える被害者等支援活動の浸透を図った。

また、各種講演会、会議への出席、他機関との共同活動等において犯罪被害者等への支援の意義、支援活動の実態等を披露し、被害者支援に関する積極的な広報・啓発活動に努めた。

### 第3 2019年度収益事業

1 収益事業体制の強化

県警察本部犯罪被害者支援室の協力のもと、自動販売機業者との連携を密にし、収益事業の促進強化を図った。

2 収益型被害者支援自動販売機の設置促進

犯罪被害者等への支援の必要性和当センターの役割及び設置した場合における社会貢献度等を訴え、被害者支援自動販売機の新設・更新を図った。

・収益型自動販売機設置台数 38台（山口県警28台）  
（その他 10台）

「参照」

・寄付型被害者支援自動販売機の設置

昨年度に引続き、一般企業・団体等に設置してある自動販売機に

ついて継続的な協力を求め、被害者支援自動販売機の新設・更新を図った。

- ・ 寄付型自動販売機設置台数 126台  
（内新規設置 8台）

